

dSPACE Japan の ユーザー会

新しい日本支社主催の
最初のユーザー会

満員の東京コンファレン
スセンター

参加者は体験を通し得
られた情報を高く評価

新たに設立された dSPACE Japan 株式会社主催による初めての日本でのユーザー会が、2006 年 5 月 23 日に東京で行われました。東京コンファレンスセンター・品川に約 270 名もの参加者が集い、dSPACE システムを使用したプロジェクトの発表や、他のユーザーとの情報交換を行いました。この参加人数の多さは、他社での開発業務のあり方に対する大きな関心を反映しています。デンソー、ジャトコ、日産、トヨタ、本田技研、日立、ヤマハ発動機、トヨタテクニカルディベロップメント、マツダ、いすゞなどの各社から参加いただきました。

東京コンファレンスセンターの快適な環境で行われたユーザー会は、dSPACE ユーザー、製品の専門家、および dSPACE システムの使用に関心を持つあらゆるユーザーが顔を合わせるきっかけとなりました。コンファレンス開催時点での最新の製品開発状況が、デモシステムを使って展示されました。

「dSPACE 関連製品のユーザーの方々との
コミュニケーションが実現し、現在の技術傾向に
ついての情報を得ることができ、有意義な集まり
でした」

日立エンジニアリング株式会社の参加者

現在のプロジェクトに関する考察

日本の代表的な自動車メーカーと自動車部品メーカーが、現在の開発プロジェクト、および、dSPACE システムの利用方法について、さまざまな考えを述べました。株式会社デンソーの西村隆雄様からは、運転支援システムへの dSPACE 適合システムの導入事例についての解説がありました。ジャトコ株式会社の中島健治様からは、dSPACE

「実際の製品の展示、製品のプレゼンテーション、
ユーザー事例の考察などすべてのプログラムセ
クションはよくまとめられ、理解の向上に役立ち
ました」

株式会社トランストロンの担当者

ツールを使用した自動変速機の電子制御開発の現状についてご報告をいただきました。三菱電機株式会社の山田元美様は、三菱電機姫路における HILS 活用事例について発表してくださいました。ヤマハ発動機株式会社の矢部昇様の発表では、モト GP エンジン開発におけるシミュレ

ションベンチの活用について議論しました。トヨタ自動車株式会社の大島明様は、同社の貴重な技術であるマルチプロセスによるエンジンの精密シミュレーション技術について発表をいただきました。フランスからの 2 名のゲストスピーカーである、Volvo 3P の Nicolas Bellot 様および



▲ 経験豊かなエンジニアが dSPACE 製品を紹介し
質問に答えました。



▲ 参加者は開発エキスパートの話に熱心に聞き入りました。

Nicolas Lacour 様からは、ライトデューティ車両のHILベンチにおける要件とその設計についての解説がありました。両氏の発表は、機能試験とネットワーク試験の実行に使用

「ユーザー会は有意義でした。dSPACE 製品の最新傾向と活用事例について学ぶことができました」

いすゞ自動車株式会社のエンジニア

する仮想車両シミュレータのプレゼンテーションで締めくくられました。



▲ ユーザー会では、RapidPro を用いた、より量産に近いプロトタイプング手法など、dSPACE の最新の成果がデモシステムで紹介されました。

dSPACE での新しい製品開発

dSPACE の発表者は、dSPACE 製品のすべての範囲にわたって、また FlexRay ソリューション、RapidPro を使用したスタンドアロンプロトタイプング、dSPACE ASM (Automotive Simulation Models) といった最新の製品開発について詳細な情報を提供しました。

活発なパネルディスカッション

イベントの最後を飾ったのは、車載電子システム開発についての現状と展望についてのパネル

ディスカッションでした。パネリストとして、トヨタ自動車株式会社の大畠明様、日産自動車株式会社の柿崎成章様、

「自動車メーカーとのパネルディスカッションは非常に興味深いものでした」

矢崎総業株式会社の専門家

株式会社本田技術研究所の嶋田敏様、および dSPACE GmbH 社長兼 CEO である Dr. Herbert Hanselmann が出席、モデレータ (司会) として dSPACE Japan 株式会社代表取締役社長有馬仁志が同席いたしました。話題は、OEM の視点からの議論、サプライヤの品質保証、生産性向上の必要性などに及びました。もう 1 つのハイライトは、モデルベースの設計とその各社への導入、および各社で専門の従業員を育成することの重要性についての議論です。dSPACE Japan 株式会社は、このユーザー会に出席し、専門性と知識を共有して下さったすべての参加者の方に厚く御礼申し上げます。dSPACE Japan 株式会社主催による初めての日本ユーザー会はおかげさまで大成功を収めることができました。今後も定期的な開催を企画してまいります。